

## 第25回がん体験共有会開催のご案内

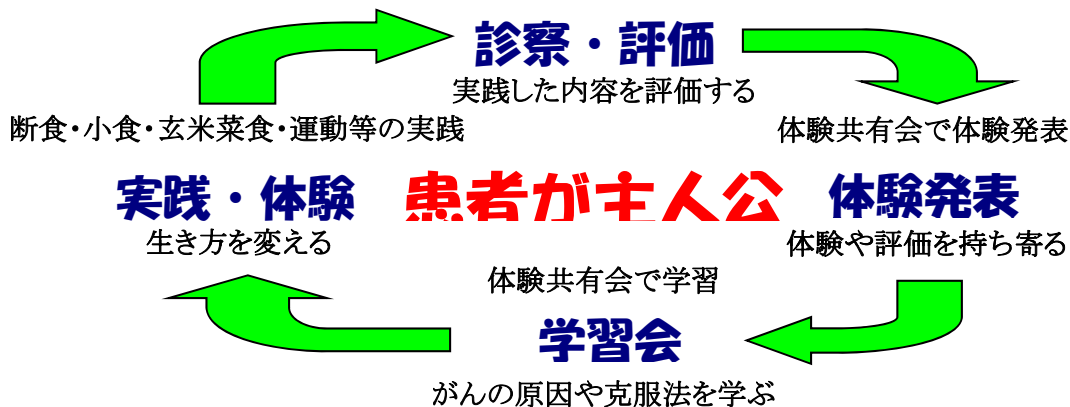
がんは生活習慣病。当会は自らの生活習慣・生き方を変えることによってがん克服を目指す人たちの学習会です。がん患者やその家族が毎月集まって下図のようにがんを克服した人の体験や、お互いの体験に学び合います。学んだことを実践体験し、その効果を医療機関で検査し、その結果を持ち寄って、会で発表・共有します。

その環を廻し続ける中で、自分に合ったがん克服法・生き方を見出そうという会が「がん体験共有会」です。がん患者やその家族であればどなたでも参加できます。

### 患者が主人公の医療の実現「がん体験共有会」

がんになっても安心して暮らせる社会を目指して

オーリングテストによる検査・サポート



- 開催日時 : 毎月第2金曜日13:30～16:30  
内容 : 体験発表 2.5時間 自己紹介・30分  
開催場所 : 男女共同参画センター「アミカス」西鉄高宮駅構内  
参加料 : 1000円 ・ 定員 30名(要事前申込)  
申込み先 : 会の世話人代表 山口(090-8835-5736)  
参加資格 : がん患者又はその家族、世話役が認めたサポーター

#### ※第25回例会のご案内

①日時:12月13日(金) 13:30～16:30、会場・参加料などは上記のとおりです

②体験発表 13:30～16:00、二人の方に発表していただきます。

A 須藤久仁恵さん(62歳)、テーマ「がん告知から現在までの心と身体の変化について」  
病歴 2007年12月 乳がん告知(右) 2008年2月 熊大病院で温存術。  
手術だけうけたものの、その後の病院での治療を断る。玄米菜食や生活スタイル  
を変える、心の問題を解決する、などの自助療法で元気を取り戻す。

心と身体をないがしろにし続けてきた。心の、身体の悲鳴が、私の身体にガンとして現れた。ガンは「生き直しのビッグチャンス」。生き直しを教えてくれたカミサマからのメッセージ。 がんと心と身体の関係について話していただきます

B 松尾憲一さん(83歳)、テーマ「胆管がん切除せずに観察続けて3年余、結果は？」  
病歴 2010年8月胆管がんⅢ期告知。勧められた手術や抗がん剤などの三大療法は拒否してオーリングテスト医療の代替医療を選択。

毎月2～3回オーリングテスト診察を受けて、サプリの効果や飲食・ストレスの影響を観察し続け対処した。飲みすぎやストレスの影響が大きいことがわかり、断酒してストレスを極力抑えることにより、最近では正常状態を保っている。

④自己紹介・質疑 16:00～16:30

がん体験共有会

世話人代表 山口勝己